

年頭所感

常任理事 吉田 剛

(パナソニック コネクト株式会社 パブリックサービス本部 渉外部 シニアマネージャー)



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本年は新型コロナウィルス感染症が5類感染症へ移行されてから、5月で2年を迎えようとしております。新型コロナウィルス感染症を経て、人々の習慣（手洗い、うがい、マスク）や健康意識（睡眠、食事、運動）も向上したと感じております。また、働き方については、リアルとオンラインのそれぞれのメリットを活かしたハイブリッドなワークスタイルが定着し、進化しているように思います。スポーツについては、リアル観戦がすっかり復活し、昨年パリでのオリンピック・パラリンピックは8年ぶりの有観客での大会で、日本人選手の活躍もあり、大いに盛り上がったと感じております。私自身も働き方や趣味のスポーツ観戦等を通じて、改めてリアルの良さを実感しております。

さて、話は変わりますが、昨年12月より健康保険証がマイナンバーカードを基本とする仕組み（マイナ保険証）へ移行し、現行の健康保険証は新規発行されなくなっております。また、マイナンバーカードと運転免許証を一体化させた「マイナ免許証」の運用も本年3月から開始される見込みです。さらに、マイナンバーカードの電子証明書機能をスマートフォンに搭載することが可能となる「スマホ用電子証明書搭載サービス」に向けた動きも加速しております。海外で

はパスポートも電子化／スマホ化を検討する動きがあります。このように、マイナンバーカードを始めとした公的IDの電子化／スマホ化が急速に広まり、併せて民間の各種IDとの連携も増えていくことが予想されます。その際には本人認証が必要になる為、本人なりすまし等、多様化するサイバー犯罪対策の重要度が増していくと思われます。また、リアルな世界では、昨今、強盗事件が連続で多発し、人々（特に高齢者）の不安が増し、日々の行動や意識を改めて見直すべく防犯対策の意識が急速に高まっていると感じます。このような環境を踏まえ、今後はリアル社会、サイバー空間共に益々多様化・高度化している犯罪に対するセキュリティ対策・防犯対策の重要度が一層高まってくると思います。

当協会におかれましても、こうした環境下でのセキュリティ対策・防犯対策に寄与する取組みが一層期待されると考えます。協会としても引き続き「安心・安全な社会の実現」に向けた活動をしてまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますよう、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。